

新型コロナウイルスの 情報発信とワクチン接種

3年12月31日現在、市内には593人の外国籍の人が住んでいます。在留資格別にみると、日本で技能や技術、知識を身に付けるための「技能実習」で滞在している人が平成27年末の107人から、昨年末には166人と約1・5倍に増加しています。また、技能実習以外の特定技能や特定活動の在留資格で滞在している人も増加しています。国籍別では、ベトナム、インドネシア、ミャンマーなどが大幅に増えており、今後とも市の外国人住民数は増えることが予想されます。

国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的な違いを認め合い、尊重し合いながら暮らしていくことのできる社会の実現を目指して――



多文化共生の まちづくり

染拡大は、日本人だけでなく日本に住む外国人にもさまざまな影響や不安を引き起こしました。このような状況の中、市は市国際交流協会に事業委託し、新型コロナウイルス感染症に関する外国人向け情報の発信、市長メッセージやワクチン接種情報の多言語化発信、外国人ワクチン相談などを行っています。

昨年10月には、全国でも先駆的な取り組みとして、外国人の受け入れを行っている市内事業所などの協力の下、技能実習や特定技能などの在留資格を持つ外国人住民を対象とした新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施しました。市内2会場で62人の外国人住民（中国・ベトナム・フィリピン・インドネシア）が、ワクチン接種を行いました。



集団接種会場では、通訳ボランティアの活躍で接種を進めることができました

ワクチン接種に関する情報はとても重要であるにもかかわらず、日本語がまだあまり得意ではない外国人にとっては、届いた書類を読んで理解することや日本語での予約、相談窓口への問い合わせ自体が非常に難しいものです。

ワクチンの集団接種には、延べ21人の通訳ボランティア（英語・中国語・タガログ語・ベトナム語・やさしい日本語）が参加し、会場内での持参書類や予診票の確認、医療通訳の専門的技術が必要な予約や接種時

集団接種会場での 通訳ボランティア



市国際交流協会
い ち
及川 衣智后 さん

7年間当協会でも運用している、市医療通訳システムの通訳ボランティアの皆さまの活躍のおかげで、今回の新型コロナウイルスワクチン集団接種、通訳支援を実現できました。

保健所長による事前研修、資料の多言語化などを行い、スピード感を持ってワクチン接種に貢献できたことを大変喜ばしく思っています。

の通訳、経過観察ブースでの見守りなどを行い、時には母語やさしい日本語で話し掛け、接種を受ける人の不安や心配を和らげました。

このように、市では企業、各種団体、ボランティアなどさまざまな人々の協力を得ながら、外国人を含む誰もが安心して生活できる地域づくりを目指しています。

■問い合わせ 本庁地域づくり推進課 市民活動係（☎34-1618）

新型コロナウイルス感染症関係の情報



掲載している情報は今後変わる場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください

新型コロナワクチン集団3回目接種（追加接種）のお知らせ

市内の医療関係者の協力の下、2月から市内でコロナワクチンの集団3回目接種（追加接種）を行っています。接種会場へご来場の際は、次の「集団接種会場での4つの注意点」を確認してください。

■問い合わせ 市新型コロナワクチン接種コールセンター（☎0120-40-10-63、平日午前9時～午後6時）

■2月スケジュール

会 場	今後の接種日
プラザイン水沢	12日、19日、26日（毎週 ^木 ）
江刺総合支所	13日、20日、27日（毎週 ^金 ）

■接種ワクチン 武田／モデルナ社製

■接種方法 予約制

■対象 3回目の接種券が届いた人（順次発送予定）

■費用 無料

■予約方法 コールセンターへ電話、またはインターネット予約サイトから予約

※接種日当日、発熱などでやむを得ず接種できない場合は市役所本庁（☎24-2111）にお電話ください

コロナワクチン接種予約サイト▶
（新しくなりました）



集団接種会場での4つの注意点

1. 予約時間まで入場できません
会場内での密を避けるため、予約時間に合わせて来場ください。
2. 肩を出しやすい服装で行きましょう
ワクチンは二の腕の上部に注射します。スムーズに接種できるように、半袖や脱ぎ着しやすい服でお越しください。
3. 保険証やお薬手帳を持参しましょう
受け付けで本人確認を行います。保険証やマイナンバーカードなどの身分証明書をお持ちください。また、薬を服用している人はお薬手帳も持参してください。
4. 副反応の治療費は自己負担となります
副反応に対する治療を行った場合、本人負担の治療費が発生する場合があります。ご了承ください。

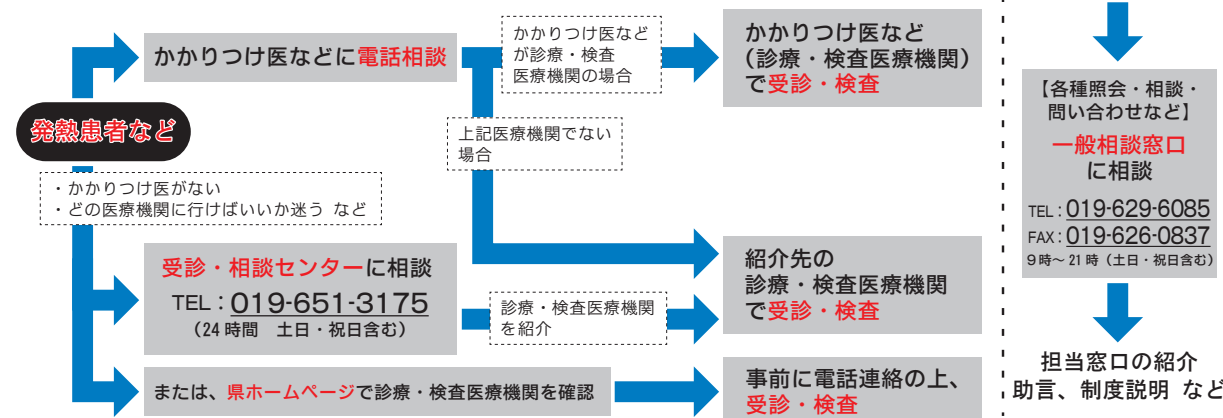
集団接種に使用するワクチンについて

3回目の集団接種会場で使用するワクチンは、武田／モデルナ社製のワクチンで、1・2回目の半分の量（0.25ml）を接種します。接種後の副反応は、ファイザー社製ワクチンと多少の違いが見られますが、いずれも安全を確認した上で承認され、世界各国で使用されています。

コロナワクチンは、ファイザー社製、武田／モデルナ社製いずれも高い有効性が認められています。ワクチンを接種できるときに接種することをお勧めします。

発熱や風邪などの症状がある人の相談・受診

- ・発熱などの症状が生じた場合には、まずはかかりつけ医などに電話で相談
- ・相談する医療機関に迷う場合などは、「受診・相談センター」に相談
または、**県ホームページ**で診療・検査医療機関を確認



※感染対策を徹底するなど体調管理に十分注意し、体調不良の場合は早めに相談・受診しましょう